きょうの紙面

2 県が除雪業者保障拡充へ
3 来月27日投開票強まる
6 ＪＲ貨物 全列車一時停止
19 東北電ネット社員を送検
20 茂吉文化賞 ３個人１団体
地域…10 11 12 13　おくやみ・残席…17

ピックアップ　鍋太郎、舞台へ

山形市内で15日に開かれる「日本一の芋煮会フェスティバル」を前に、約３万食の芋煮を調理する大鍋「３代目鍋太郎」が、同市緑町４丁目の展示場所から、会場となる馬見ケ崎川河川敷に移された。20

がん、脳卒中 理解深める

山形で山新健康フォーラム

最新のがん治療や脳卒中の予防法などについて理解を深めた山新健康フォーラム　＝山形市・遊学館（撮影・山口竜昇）

山新健康フォーラム（主催・山形新聞、山形放送、共催・山形市）が11日、山形市の遊学館ホールで開かれた。がんや脳卒中治療の第一人者による講演を通じ、市民ら約220人が最新の医療情報や予防法への理解を深めた。

主催者を代表し、寒河江浩二山形新聞会長・主筆（山形新聞グループ経営会議議長）が「大切なのは一人一人が正しい知識を身に付け、生活習慣病の予防と早期発見・治療に結び付けることだ。フォーラムが県民の健康寿命延伸と、明るく豊かな生活づくりの助けとなるよう願う」と述べた。

来賓の山下英俊山形市保健所長、間中英夫県医師会長があいさつし、佐藤秀之山形新聞社長、板垣正義山形放送社長も出席した。

国立がん研究センター理事長の中釜斉氏、同センター名誉総長の嘉山孝正氏、日本学士院会員で元同センター研究所部長の関谷剛男氏が講師を務めた。

中釜氏は、抗がん薬の進歩などでがんの生存率が年々改善しているとしつつ、生活習慣の見直しと検診による早期発見、治療の重要性を強調した。同センターと鶴岡市立荘内病院が取り組む「遺隔アシスト手術」や最新の免疫療法、ゲノム医療に触れ「誰一人取り残さないがん対策推進へ、どの地域でも高度ながん医療を受けられる仕組みの構築が必要」と述べた。

嘉山氏は、健康寿命延伸には、要介護につながる原因の半分近くを占める脳卒中の予防が大切とした。「発症後4時間半以内の治療開始が肝心。前兆とみられる症状がある場合は、すぐに受診してほしい」と呼びかけ、日頃の対策として検診（脳ドック）や、主な危険因子となる高血圧、心房細動の治療が有効とした。

関谷氏は、がんの発生、進行に関わる「ドライバー遺伝子」の変異が、細胞の異常増殖を引き起こすと説明した。「がんと診断される段階では、細胞集団から変異ドライバー遺伝子が4～5個検出される。その前に手術や薬で排除できれば、がんで苦しむことはなくなる」と訴え、初期段階での発見が重要と指摘した。

フォーラムは、健やかな長寿社会の実現を目指して1993年から開催している。講演内容は18日付の本紙で詳報する。

（吉村瑛人）

動画はここから

▼SDGs　「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称。国連加盟国が採択した目標で、「すべての人に健康と福祉を」など17項目を掲げている。山新健康フォーラムはその目標に合致する。

迫る選択

松山氏が出馬断念　飯豊町長選

任期満了に伴う飯豊町長選（10月24日告示、同29日投開票）に立候補の意思を示していた町議の松山和好氏(67)＝椿＝が11日、出馬を取りやめることを明らかにした。

山形新聞の取材に対し、松山氏は「当選は難しいと判断した。自分と同じ方向を向いている候補者の応援に回り、今の町政の流れを継実に変えたい」と話した。

現時点で町長選にはともに新人で、元町職員の嵐正人氏(42)＝萩生＝と、前副町長の高橋弘之氏(56)＝椿＝が立候補を表明している。

（根本光輝）

〈2024年9月12日〉

CNNの緊急世論調査
ハリス氏 ▶ 6
肯定的 45%
ハリス氏 ▶ 39%
トランプ氏 ▶

やりとりの印象が選挙戦の行方を左右する。1960年に共和党ニクソン候補と民主党ケネディ候補が初めて臨み、テレビ映りが良かったケネディ氏が清新さを印象付けて当選につなげた。民主党のバイデン大統領は今年6月27日の討論会で振るわず、撤退を迫られた。（フィラデルフィア共同）

目の投票でどの候補も過半数を獲得できない可能性が高く、上位2人による決選投票にもつれ込むのは必至の情勢だ。立候補には推薦人20人の動向が鍵を握る。

総裁選に初めて挑む上川氏は東京都内で会見し、「難問から逃げず、国民の皆さまと新たな日本を築きたい」と意気込みを語った。高市早苗経済安全保障担当相(63)に続いて今回2人目の女性候補となる。

出馬を模索していた斎藤裏金事件を受け解散方針を決める派閥が相次いだ。派閥の締め付けが弱まり、異例の乱戦模様となっている。立候補には推薦人20人

加藤勝信（旧ツ
はラジ
得倍増
た。